

Collegium Musicum Shizuoka

コレギウム・ムジクム静岡 定期演奏会

2012

7月8日 日曜日 開演14:00 / 開場13:30~

会場：静岡音楽館



〒420-8691
静岡市葵区黒金町1番地の9

指揮：高橋俊之 演奏：コレギウム・ムジクム静岡



ピアノ独奏：入川 舜

ヘンデル

「水上の音楽」より

ハイドン

交響曲第104番「ロンドン」

第1楽章 Adagio - Allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Menuetto : Allegro

第4楽章 Spiritoso

モーツァルト

ピアノ協奏曲第23番

第1楽章 Allegro

第2楽章 Adagio

第3楽章 Allegro assai

■主催：コレギウム・ムジクム静岡

■後援：静岡市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送

■協賛：株式会社アイワ不動産

■お問い合わせ：コレギウム・ムジクム静岡 電話：054-347-0164 (藤井)

ホームページ <http://www.portwave.gr.jp/collegium-musicum>

プログラム・ノート

G. F. ヘンデル 「水上の音楽」より

ヘンデルは若い頃からイタリア各地を巡り、その後はイギリスを来訪し、最終的にはイギリスの市民権を獲得しています。ヘンデルが作った管弦楽曲の代表作が「水上の音楽」で、ジョージ1世の舟遊びの大遊宴に演奏されたものです。

第1組曲

序曲 (ラルゴ - アレグロ) フランス風序曲の特徴を持ち緩やかな序奏で始まる。曲は合奏協奏曲風に作られている。

(アレグロ) - アンダンテ - (アレグロ) 川面に響き渡る様な壮麗な曲。中間部はヘンデル得意の歌曲的旋律が美しい。

エアー 付点音符を持ったリズムは16世紀のフランスの歌謡の様式であり、当時盛んに流行した。

ブーレ ブーレは17世紀頃、南フランスの山岳地方で、山男たちに踊られた踊りである。後に上流社会の踊りとなり流行した。

ホーンパイプ イギリスの船乗りの間に起こった踊りで、狭いデッキの上で片足を高く上げ、片足で跳ねながら手で拍子をとるといふ、粋な水夫の軽妙な踊り。

第2組曲

アラ・ホーンパイプ 全曲中最も有名な曲。弦とオーボエによる主題提示のあと、トランペットとホルンが壮大なメロディを競い合う。中間部では弦楽器群がスケルツォ風に忙しく動き回る。 (大内)

J. ハイドン 交響曲第104番 「ロンドン」

第1楽章 序奏付きのソナタ形式

第2楽章 単一主題による変奏曲風の三部形式

第3楽章 メヌエットとトリオの複合三部形式

第4楽章 終曲：ソナタ形式

ハイドンは1790年代にロンドンのザロモン演奏会のために12曲の「ロンドン交響曲 (ザロモンセットとも呼ばれている)」交響曲第93～第104を作曲し、ロンドンで演奏して大成功をおさめた。

104番はハイドンの最後の交響曲でもあり、円熟味あふれる代表作の一つでもある。この交響曲はロンドンと呼ばれているがハイドン自身が名づけたものではない。

なお、ハイドンの最後の5つの交響曲にはクラリネットが加わっている。これ以後の交響曲のスタイル、典型的な2管編成の

出発点となっている。

この曲が作曲された1795年はどのような時代だったのだろうか。フランスではフランス革命、君主制が終わり、イギリスでは産業革命が起り、イギリスの繁栄と富が築きはじめていた。国王や君主のためだけの音楽ではなく、貴族や上流市民も音楽を楽しむ時代へ変化していた。音楽家もそれまでの職人から、芸術家へ衣替えが始まった時代でもある。

ちなみに1795年頃の日本は寛政年間で、昌平黌が始まっていた。この年円山応挙が死去している。 (森本)

W. A. モーツァルト

ピアノ協奏曲第23番 イ長調 Kv. 488

第1楽章 アレグロ イ長調 4分の4拍子、協奏風ソナタ形式

第2楽章 嬰へ短調 8分の6拍子、三部分形式

第3楽章 アレグロ・アッサイ イ長調 2分の2拍、ロンド形式

絶えず微笑みを忘れないで生活することは難しい。笑顔でいるためには、エネルギーがいるからだ。そして人は何でも自分の思うままにできるわけではない。私たちの世界は人と人の交流によって大きくなっていくと私は信じているが、実はコミュニケーションをするのも大変なことで、あるやり取りで一方の意見が通るならば、もう一方は受け入れなければならない。この「受け入れる」ことは実は主張するよりも困難なことではないだろうか。受け入れるには相手を本当に尊重する気持ちがなければできないからだ。そして人生は受け入れることの連続だ。

だが、そうしなければ私たちの世界は良いものにはならないだろう。モーツァルトの音楽もそうでなければ本当に美しくはならない。この協奏曲ではピアニストもオーケストラの一人ひとりも、自分の音に耳を傾ける以上に、周りの声を聴いていなければならない。

このピアノ協奏曲は、モーツァルトの全作品の中でももっともよく知られ、彼のピアノ協奏曲 (全部で27曲) を代表する作品だが、この作品を書いた頃のモーツァルトが幸せであったかどうかは分からない。モーツァルトが生まれてからこの曲を書くまでの約30年の間、彼はものすごいスピードでひとつの道=音楽の道を歩んできたのだ。それは孤独な道だ。彼が余りに天才だったから、彼を理解できる人もいなかった。彼は自分の孤独を受け入れるしかなかっただろう。

だが、彼はそれでも微笑みを持って生活することを忘れなかったと私は思う。この協奏曲の全楽章で、モーツァルトのそうした気持ち (そして孤独も) は本当によく伝わってくる。そして彼は、——私の曲を演奏する人たちには、ひとつのことを全員で目指そうとしていることの喜びを味わってほしい——と願っていたのではないだろうか。

現実の世界は音楽のように進んでいかなければならないだろう。モーツァルトの音楽が均衡を与えるのに対して、現実の世界に平等など実際には存在しないからだ。だが、私はモーツァルトの音楽を演奏することで味わうことができるこのような気持ちを、自分の根底にいつでも大切に置いていたいと思う。そして、音楽には人と人とのつながりを良い方向に変えることができる力があることを強く信じている。 (入川 舜)

音・楽・新・世・紀

音楽のある暮らし・感動するところ・優しい生活
それが私たちの願いです

We Sell All About Music

音 楽 舎

The Ongakusha Music Co.Ltd.

〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4-8-6
TEL 054-265-2930 FAX 054-265-2932
営業時間 AM 10:30~PM 7:00 日曜・祝日定休
●静鉄総合運動場駅より徒歩3分、駐車場完備

ごあいさつ

本日はようこそお出で下さいました。今年はロンドン五輪開催、エリザベス女王即位60周年とイギリスブームですが、演目の前半はドイツ生まれイギリスゆかりの作曲家2人の作品です。

ハレルヤコーラスで有名なヘンデルは、20代でアン王女から終身年金を約束され、後イギリスに帰化。「水上の音楽」はヘンデルの代表作の一つです。

ハイドンはエステルハーゲン家に仕えた楽師ですが、興行師ザロモンと組んで世界都市ロンドンで「驚愕」、「ロンドン」などの名作交響曲を作曲しました。

ハイドンは同時代を生きたモーツァルトからパパ・ハイドンと慕われた様ですが、モーツァルトはハイドンより早く逝ってしまいました。モーツァルトの作品全てが名作と言えますが、その中でも珠玉の作品であるピアノ協奏曲が後半の演目です。本日のソリストは静岡市出身、現在パリで研鑽中の入川舜氏。AOIでのリサイタルなど多くの演奏会をされているのでファンになられた方も多いでしょう。

ピアニスト内田光子氏の言葉に「音楽の目的とは、美しい何かを人と分かち合うもの。演奏することは、自分が上手いということを見せびらかすものではない」があるそうです。この言葉には生で演奏し、聴くという行為によるコミュニケーション（音楽）の本来の意義が表されている様に思えます。入川氏のピアノとオーケストラ、そして聴衆の皆様とのコラボレーションによって、美しい何か分かち合え、豊かな時空が出現できたらと思います。

コレギウム・ムジクム静岡 代表：才 茂 泰 司



プロフィール

入 川 舜 (ピアノ独奏)

静岡聖光学院在学中の2000年に第5回「静岡の名手たち」オーディションに合格。東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。

大学内においては2007年度芸大プロジェクト、第35・36・37回室内楽定期等に出演。2008年4月の新卒業生演奏会では、松岡あさひ作曲・ピアノとオーケストラの為の新作を芸大フィルと共演した。大学卒業時に同声会賞受賞。第12回松方ホール音楽賞受賞。2010年ピアノトリオの演奏会で青山バロックザール賞受賞。

2010年にミッテンヴァルト社よりCD「日本のピアノソナタ選」をリリースし、文化庁芸術祭参加作品となる。

2011年東京上野旧奏楽堂において室内楽を含むリサイタル、静

岡音楽館AOIにおいてソロリサイタルを開催する。

ピアノを高瀬健一郎、寺嶋陸也、辛島輝治、迫昭嘉の各氏に、フォルテピアノを小倉貴久子氏に、伴奏法をローラン・テシュネ、松浦真沙、野平一郎の各氏に師事。

現在、市立パリ地方音楽院 (CRR de Paris) のピアノ伴奏科と室内楽科に在籍し、ピアノ伴奏をアリアヌス・ジャコブとフィリップ・ピロ、室内楽をポール・メイエとエリック・ル・サージュの各氏に師事。パリにおいて活発な演奏活動を行っている。

平成24年度文化庁新進芸術家海外研修員

高 橋 俊 之 (指揮者)

1968年生まれ。1979年より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室、同高等学校を経て、1991年桐朋学園大学を卒業。同大学研究科、指揮教室を修了。指揮法を黒岩英臣氏をはじめ、飯守泰次郎、秋山和慶氏の各氏に師事。

1991年桐朋学園大学オーケストラの一員として、ニューヨーク・カーネギーホール、仏・エヴィアン音楽祭に出演。1992年スイス・ルガーノでマスター・プレイヤーズ、1993年ウィーン・マイスター、1995年イタリア・オルヴィエートでレスピーギ音楽院の各指揮コースに参加。2009年から、コレギウム・ムジクム静岡の指導にあたる。

【出演メンバー】

ヴァイオリン	江成 博行 菅野 美穂 才茂 泰司 佐々木智子	大内 裕子 望月 勉 才茂奈生子 平本小都実	戸塚 洋美 江成 淳美 大内 潤
ヴィオラ	飯田 晃司 宮坂 広志	原田 吉郎	今田 幹子
チェロ	鈴木 誠一 篠崎 正啓	常盤 洋介	政本 真紀
コントラバス	藤井 弘之	坂口 卓也	
フルート	西貝 詳子	石野 智子	
オーボエ	大橋 且明	小田 紀子	
クラリネット	鈴木 教代	望月 好美	
バスーン	森本 純一	伏見 寛之	
ホルン	山梨 晴正	工藤 正人	
トランペット	杉山 雅行	深見 康英	
ティンパニー	西貝 誠一		
チェンバロ	青木みすえ		

※コレギウム・ムジクム静岡では、弦楽器団員を募集しています。
☎054-347-0164 (事務局・藤井)

百年先まで届く響きを

シャコンヌは、ヴァイオリンをはじめ、弦楽器のコンサルタントとして安心と信頼をお届けしています。

ご提供する楽器や弓は、ロンドンでのオークションをはじめヨーロッパ各地にて実際に目で見て吟味したものを輸入して揃えています。各店には、伝統的な修理技術をもとに日本の繊細な技術を生かした独自の基準をクリアした職人達が常駐し、楽器本来の姿を取り戻します。また東京海上日動火災保険の代理店として楽器保険業務も行なっております。

お客様が安心して演奏活動ができますよう、あらゆるご要望にお応えします。

運命の一本との出会いがここにある

<http://www.chaconne.info>

楽器弦楽器直輸入・修理調整・楽譜・鑑定・楽器保険
株式会社シャコンヌ

【名古屋店】

名古屋市中区栄2-11-19 熊田白川ビル2F
☎052-202-1776 FAX: 052-202-2990

【東京吉祥寺店】

武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル904
☎0422-23-1879 FAX: 0422-23-1876
営業時間: 10:00~18:30 定休日: 日曜・月曜



CHACONNE
DEALERS OF FINE VIOLINS

歌のように暮らしたい。

イメージキャラクター
長尾春花さん



テレビCM放送中!

「報道ステーション」番組提供(静岡朝日テレビ/毎週火曜日)

あなたの地図の、まんなかに。

人は心のなかに、じぶんの地図をもっています。
そこは住みなれた街がひろがり、
かけがえのない家族がいて
今日までの人生が記されています。
その地図に、
マンションライフという夢を描いていただくこと。
時代が変わっても色褪せない、
価値ある生活空間をお届けすること。
これが私たちの願いです。
あなたの地図のまんなかをめざして。
私たちはこれからも、こゝ静岡県を舞台に、
住まいづくり、街づくりに取り組んでまいります。

メゾン・ヴァンペールは、
アイワ不動産の分譲マンションシリーズです。



メゾン・ヴァンペール江尻台
(平成13年完成/全26戸)

メゾン・ヴァンペール大岩
(平成12年完成/全18戸)

メゾン・ヴァンペール音羽町
(平成11年完成/全12戸)

